



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

OCTOBER, 1985 IV-4

Y's Men
 International
 Convention
 Aarhus 1986



1985-1986 THEME

- 「Service with Enthusiasm」 — 熱誠もて奉仕を — IP
 「How Young are You ?」 — 若がるワイズ、湧きおこるY魂 — RD
 「積極的な行動でワイズの輪を広げよう」 DG
 「着こなそう ふだん着のワイズダム」 P

Thought for the Month

but they who wait for the Lord shall re-
 new their strength, they shall mount up with
 wings like eagles,

(ISAIAH 40:31)

しかし主を待ち望むものは新たなる力を得、わたし
 のように翼をはって、のぼることができる。走っても
 疲れることなく、歩いても弱ることはない。

(イザヤ書 40.31)

PROGRAM

— ウエルネスの月 — 10月例会

DATE: 10月16日(木) 18:30~20:30

PLACE: 大阪YMCA会館 9階

- | | | |
|------------------------|-----|-------------------|
| 1. 開 会 | 司 会 | 上月英子姉 |
| 2. ワイズソング | | 会 長 |
| 3. 聖句朗読 | | 一 同 |
| 4. ゲスト紹介 | | 坂口芳良君 |
| 5. 食前感謝「日々の糧」 | | 会 長 |
| 6. 晩さん | | 一 同 |
| 7. ゲスト・スピーチ | | |
| 「ウエルネス—守りから攻めへの健康」 | | |
| | | Y M C A 体育研究所主任主事 |
| 8. 誕生日のお祝い | | 世戸俊男氏 |
| 9. ニコニコアワー | | 会 長 |
| 10. 役員会、委員会報告、YMCAニュース | | ドライバー |
| 11. 閉 会 | | 会 長 |

第2例会 DATE: 10月23日(木) 18:30~20:30

PLACE: YMCA国際社会奉仕センター

DATES for MAKE-UP & FELLOWSHIP



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1 サウス	2 牧 方	3	4 長 野	5 紀の川
6	7	8 大 阪	9 千 里 高 槻	10 堺 田 辺	11	12 奈 良
13	14	15 土佐堀 豊 中	16 センテニ アル ①	17 河 内 和歌山	18 泉 北	19
20	21	22	23 センテニ アル ②	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

例会日時、会場の詳細は名簿参照。尚変更、食事の準備への配慮から各自で必ず事前に連絡のこと。(当クラブ内の事前申告も必ず履行)

例会当番 中村, 上月, 田中, 坂口, 山中
 <少なくとも30分前に来て、会場準備して下さい>

EMPHASIS THIS MONTH

YMCA サービス

Statistics (統計)

9月例会出席状況 (在籍会員35名)	ニコニコ 献 金	B F ポイント	ファン ド
メ ン 21名	9月	9月	9月末累計
出席率 60%	16,300円	切手5,900p	
メネット 1名		700p	152,653円
コメット 0名	累計	累計	
ヴァンター& ゲスト 2名	47,380円	切手6,864p 現金3,261p	
計 24名			

今月の聖句によせて

“走れどもつかれず歩めども倦ざるべし”と結ばれているイザヤ書第40章の文語体に初めてすばらしく感動的な迫力を以て身が引締る思いがしたのはもう40年程前のことです。

ここに書かれた時のイスラエルの民は、町町が破壊されるなどあらゆる不幸にあって氣力を失い、恰も神が自分達を見捨て給うたと思程不信仰になっていました。

これに対し予言者は“とこしへの神地のはての創造者”(40:28)である主を信するよりほかはないのだと敢然として勇気を与えるのであります。

この力強い聖句を読むたびに身震いする程感動を覚えるのは私ひとりではありますまい。

福永嘉彦

Y. KURODA SPEAKS

YMCAサービスの意味するもの

ワイズメンズクラブは“YMCAのサービス・クラブ”という強い性格をもっており、これは他の奉仕クラブになりません。このこともワイズメンは大変誇りとしています。

私たちの大阪センテニアルクラブは、そのフランチャイズを大阪YMCA国際社会奉仕センターに置いています。この国際奉仕センターでは、外国からの私費留学生のための日本語教室など、多くの国際協力プログラムをもっています。私たちワイズメンに参加協力出来るプログラムの「宝庫」です。

先月の例会は、この国際奉仕センターの真嶋所長(私たちの新しい担当主事)をスピーカーに招き、現在の奉仕センターの活動を知り、勉強する機会をもちました。その結果、先日のクラブのYMCAサービス委員会は11月27日

黒田 敏之

のYMCAチャリティ・クリスマス・コンサートの協力参加(詳細な別項参照)、及び、国際奉仕センターの語学クラスに奉仕されている外国語の先生方を早い機会に私たちの集いに招待することも決めました。

メンバーの積極的参加・協力を期待しています。

(代筆 谷川 寛)



HAPPY BIRTHDAY

October の誕生石

10月の誕生石は opal (オパール) で、hope (希望)、health (健康)、long-life (長寿)、

山村 利子メネット	10・9
安福 節子メネット	10・17
藤本 まち子メネット	10・20
正司 泰子姉	10・24

October の花



10月の花は hop (ホップ) である。桑科の多年性植物で雌雄異種、雌株には球果状の花を開き、そこにできる穂果は健胃剤に、またビールの芳香づけに用いる。穂果は変質しやすいので熟すと同時に収穫する。

COMINGS & GOINGS

9月29日(日)午後、河内ワイズメンズクラブ 10周年記念会が盛大に開かれた。

当クラブから鈴木夫妻、柴田夫妻、杉本君、森君、多田姉の7名がお祝いにお出された。

任巻は河内音頭で、参会者全員が豪快に踊りまくり、河内クラブの活力を見た思いであったとのこと。



Y'S MENETTES & Y'S LINGS (メネットとコメット)

メネット会長の交代



山田メネット会長は、先頃胃かいようの手術を受け目下療養中であるが、回復までには今少し時間がかかり十分な活動が出来ないとの理由で辞任の申し出があった。

25日の役員会で、事情止むを得ないと判断しこれを受理した。後任会長には、現在メネット会書記として活動中の田中豊子メネットを選任した。

「平和の本」寄贈についてお願い

「平和の本」キャンペーンについて、メネット会としても寄贈活動をするにいたします。当面は各コメットの通学される中・高校の図書室へ寄付することを推進したいと考えております。各メネット宛ご連絡しますが、その可能性についてご検討下さい。当面の目標は10冊以上とします。

ニコニコ・フリーコメント (9月例会)

- 中川 徹太郎** お食事2人前いたゞき感謝
久々参加、うれしいです。
- 山田 孝彦** メネットの入院が永びいて、皆様にご心配をおかけしております。センテニアルメネットの皆さんから、温かいお見舞のことばを頂戴し感謝です。
- 河野 正義** チャーターナイト3周年!! 月日のたつのが早いものと、今更ながら驚いている昨今です。
〔もうすぐ 50才〕大台に乗る前にもう一働らきしなくては、と考えるこの頃です。
- 黒田 敏之** いのちの電話バザーへの、会員の皆様のご協力に対する感謝。
- 杉本 恭之助** 夏休みを利用して古寺と文学のふるさと、尾道を訪ね、ついでに宮島まで足をのびて来ました。向かい島の“高見山”からの瀬戸内350度の展望と、村上水車の根拠地“因島”への因島大橋はまさに本四架橋のさきがけの大橋として、さすがに圧巻でした。
- 森 庄司** 先月8月27日に娘がオーストラリアでの40日のホームステイを終え、無事帰国いたしましたことを感謝いたします。
- 谷川 寛** 貞嶋所長をわがセンテニアルの担当主事に迎えたことを感謝して。
田中さん、チャーター以来の奉仕を感謝して。
- 福永 嘉彦** チャーター3周年に当り、感謝と今後の発展祈念して!
- 鈴木 美藤** メネットが出席出来た事、感謝です。
- 村田 貞夫** 奉仕センターの活動を盛りたてましょう。

(掲載はEDITORの独断でスペースの都合上一部割愛してありますのでお許し下さい。)



PICK UP 北から南から

今月は中西部の他クラブの会長標語をひろってみました。(順不同)

大阪サウス 一人が一人の新しい友を増やそう/和歌山
BE ACTIVE WITH YOUTH. /大阪 より一層の活性化を/千里 自然体/枚方 ロマンへの旅立ち、再び— A Journey to “Romance” /高槻 みんなで楽しく広げよう友情の輪/奈良 すべてのことに若さと情熱をもって/堺 良き隣人になろう/泉北 理性と感性を伴った奉仕活動を/河内 共に手を携え発展を/長野 地域に密着した奉仕活動/紀の川 地域に根ざすワイズメン/土佐堀
ALL HANDS FOR Y'sdom /田辺
/豊中 魅力を抜き出そう

TOPICS IN FOCUS

国際交流に劣らず国内交流も

部	クラブの子弟を他クラブへ訪問させる事を希望する。	他クラブの子弟を受入れ可能なクラブ
北 部	札幌、札幌北、十勝	札幌、札幌北、十勝
北東部	東京	東京、東京グリーン
東 部	柏	千葉、柏
南東部	横浜	東京武蔵野、目黒、東京西横浜
富 士 部	三島、小田原	湯河原、熱海、三島、小田原
中 部	名古屋南山	金沢、名古屋南山
京滋部	彦根シャトー、京都、京都パレス、京都ウエスト、京都キャピタル	彦根シャトー、京都、京都パレス、京都ウエスト、京都キャピタル、福知山
中西部	大阪土佐堀、高槻、センテニアル	大阪土佐堀、大阪サウス、堺、高槻、センテニアル、田辺
西 部	西宮	西宮、神戸
九州部	福岡中央、熊本	北九州、福岡中央、熊本

CENTENNIAL COMMENTARY

日本区定款改定について

前年度日本区定款改定特別委員会委員長
杉本 恭之助

去る6月7日開催の日本区代議員会で承認の改定定款が、いよいよ本年度から運用開始されましたので、以下の通り改定案作成の考え方と改定の要点について申し述べます。この機会にこれを参考として、全メンバーが日本区の「よりどころ、とも云うべき改定定款を精読されて、一層認識を深められますようお願いいたします。

1. 改定案作成についての主な考え方

そもそも日本区定款は国際憲法の精神を踏まえ、その大枠の中で日本的文化性、特質性、地域性などを勘案し、1975年に制定されました。

2. 定款改定の要点

近年、日本区自体の発展あるいは日本区を取り巻く国際情勢の変化などにより、定款対応上若干齟齬が合いにくくなって来ていると見られる点や、もともと現状に矛盾していると思われる点など散見されます。又、折角定款に規定されているが現実に充分その機能が発揮されてないと受けとめられる部分もあります。そこでこれらの問題点についてそれぞれ原因を訴求し、今後日本区におけるワイズダムの一層の発展と云う目的意識を軸として、あるところは一旦原点に戻し、又あるところは必要部分を改善するとともに、一方定款の意図するところを積極的に効率的に機能遂行し易い形に手直しするなど、いわば改良アプローチの方法により今回の改定案を作成しました。

要は日本区組織の各レベルが、この改定定款をベースとして、さらにレベル・アップを心がけ、そしてよりダイナミックなリーダー・シップが発揮されることを願っている訳でもあります。

改定方針	主な改定点	改定の理由
1. 日本区 役員の機能、役割などについての見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○次々期理事の廃止 ○事業主任の整備、統合化 <ul style="list-style-type: none"> ●文献サービス事業主任→(特別委員) ●物品サービス事業主任→(特別委員) ●TC事業主任→(特別委員) ●YMCAサービス事業主任→統合 ●ASF事業主任 } →統合 ●IBC事業主任 } →統合 ●YEEP事業主任 } 	<ul style="list-style-type: none"> ●近年日本区におけるワイズダムの発展に伴い、日本区組織の肥大化傾向が見られるようになった。この際、各役員の機能、役割などを見直し、役員会運営あるいは組織との関連を踏まえながら、一部廃止、統合あるいは移行による効率化を図ることとした。 ●次々期理事としての具体的任務は殆どない。 ●次々期理事に選出されたあと、次期理事、理事、直前理事各1年、その後監事2年の合計6年間日本区役員を続けることになり、これでは長すぎる。 ●元々以前は役員としての次々期理事は存在しなかった。当時、毎年次期理事の複数候補者の指名に手間取り、その対策として1年前の段階で手当をしておこうとの理由もあって、その後次々期理事制が出来た経緯がある。しかし、この複数候補者制による難点は以前と同様である。 ●事業主任はすべて役員であるから、事業拡充に伴いそれらの事業部門に事業主任を新しく置いて行けば、同時に役員数が増加して行く仕組みに成っている又、事業部門すべてに役員である事業主任を置く必要があるかどうか。 ●例えば一般事業部門と質的に多少異なった事業分野については、役員としてではなく、以前そうであったように、特別委員としてでもその役割遂行を充分期待出来る。 ●特に文献サービス、物品サービス事業は、日本区事務所の機能との関連が強いので、日本区事務所の運営に関わる委員の立場でその役割を遂行願うことが望ましい。 ●又、各事業主任の事務処理面の負担については、出来る限り日本区事務所で代行することにより事業主任本来の機能をより効率的に遂行し得ることになり、同時に各事業の性格やサービス対象の共通する部分を持つ事業については集約、統合が可能である。現に一部の事業については兼任の形で担当している。
2. 部長の機能、責任の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○部の運営責任者としての位置付けの明確化 <ul style="list-style-type: none"> ●部の一般行政ならびに財政を執行する。 ●常に部を代表し……………などの条項化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワイズダムの発展には部レベルの強化が不可欠である。又、部の強化には部長のリーダーシップの発揮にまつところが大きい。しかも部長が本来の役割を果たすことにより、現状では常に多忙な理事も、自らの役割をより効果的に遂行することが出来ることになる。 ●そこで部の運営責任者としての責任と役割をより明確にし、部長がそのリーダーシップをより発揮し易い形とした。

改定方針	主 な 改 定 点	改 定 の 理 由
	<ul style="list-style-type: none"> ○条項上のランクアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、部単位のレベルアップに伴い、部書記、部会計及び事業主査が現実に存在し、機能しているので現状に則しこれらを条項化した。 ・事業主任ならびに事業主査との組織上の関係についても明確にした。 ・部長の任務を1つの項目内で取り扱わず、それぞれ独立項目の扱いとした。
3. 次期理事の選出方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○複数候補者指名の義務付けを→原則として複数の……と改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・1.で記述の通り、複数の候補者（改定前は次々期理事の……）を指名することが難しく、毎年期限ギリギリまで苦労しながら、なんとか形式的には条項通りとにかく複数候補者を指名したと云う形を整えていた訳である。 ・このような状況を踏まえ、複数候補者の指名がどうしても困難な場合の対応を考慮した。
4. 監事の位置付け等の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ○役員と混同され易い条項の決定 ○任期の明確化（2年） ○現実の選出方法に則した条項に改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・監事は役員会の構成メンバーではないにもかかわらず混同、誤解される表現の条項があるので、これらを改定した。 ・監事の任期は役員の任期1年と混同され易く、もしそうだとすると事実上矛盾することになる。何れにしても監事自身の任期を明記する必要がある。 ・現実には定員2名の内毎年1名ずつ選出しているので、この通り改定した。
5. 日本区事務所の機能強化と理事事務局の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○理事事務局の廃止 ○日本区事務所の代行事務の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・文献主任らの特定事務代行→事業主任の特定事務代行に改定 ○日本区事務所運営に関わる委員の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事をはじめ役員の任期は1年であるから毎年交替している。この仕組みでは所謂「継続性」とか「普遍性」と云う面では組織上欠けていることになる。例えば国際的な問題の処理、対応などは普遍的、持続的な面が必要である。 ・そこでワイズダム（知恵）の歴史、流れ、あるいは過去の事例など長い目で「見守るところ、がなくてはならない。この意味からしても日本区組織の中では、常設の日本区事務所が、まさにその「見守るところ、であり、その機能を強化し大いに活用せねばならない。 ・近年、理事周辺の事務処理負担が増大傾向にあり、理事事務局組織の肥大化を齎している。将来の発展を考えると、理事事務局の所謂ボランティアサービスのレベルでは対応が難しくなって来ることも考えられる。又、それだけのボランティアスタッフを揃えぬと、理事の役割が満足に果たせないと云うことになる。遂には理事のなり手も限定されてくる。この意味でも理事周辺の事務処理面を日本区事務所に代行させる必要がある。又、部長の機能、責任の強化（2.参照）と相まって理事並びに周辺の負担の軽減化が図られ、肥大化した理事事務局を廃止することが出来る。勿論、書記、会計の本来の任務に変更はない。 ・元々日本区事務所と理事事務局が混同され易く紛らわしい。 ・1.で記述の通り各事業主任の特定事務処理代行が生じてくる。 ・日本区事務所の機能を必ずしも充分活用しているとは云い難い。上記機能の強化に対応して同事務所の運営に関わる委員を設置し、効果的な運営を図る必要がある。勿論、日本区事務所長も委員の一人でなければならぬ。尚、文献サービス、物品サービス事業主任の機能もこれらの委員により遂行される。
6. 「日本区」又は「区」の呼称付加についての見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○右記呼称基準に沿って改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・条項上「日本区」又は「区」の呼称使用にハッキリした基準がなかったのがこの際下記の通り「日本区」又は「区」の呼称を付加あるいは削除する基準を明確にした。 <li style="padding-left: 20px;">元々この定款は日本区定款であるから、わざわざ「日本区」を付加しなくとも理解出来る個所は付加しないことを原則とし、「日本区」を付加しないと混同して紛らわしい個所には「区」だけでなく、むしろハッキリと「日本区」を付加する。
7. 日本区定款内細則と日本区定款細則の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○日本区定款細則→日本区定款施行細則 	<ul style="list-style-type: none"> ・細則には、日本区定款内に規定されているものと、日本区定款とは別に日本区定款細則の2種がある。これらは一言で細則と云う場合混乱する。元々日本区定款内細則は所属するそれぞれの条項の補則的なものであるのに対し、日本区定款細則はむしろ施行要領的なものである。この際後者の名称を改定した。

ユニバーシアード神戸大会体験記

コメント 山中 圭



8月14日から選手村は開村し、9月6日に閉村しました。多くの国の人々が生活した選手村は、いわば舞台に対して舞台裏、楽屋とでも言えるでしょう。その選手村に始めて行ったのは8月20日の事でした。私はモーリシャスの担当でした。インド洋に浮ぶマダガスカル島の東にある島です。選手団と団長を入れてわずか3人しか来てない国です。彼らは陸上の選手

でした。選手の Richard と Sandra は私より年下でしたので弟や妹みたいでした。特に Richard には天手古舞させられました。彼は出発の際、選手村にパスポートと航空券を忘れるという大事件をフィナーレに飾ってくれました。その日、丁度ポルトガルの人も帰るので彼らのバスで持ってきてもらい離陸15分前に別れを言いました。別れたさびしさよりも無事に乗れたとホッと安堵しました。

ユニバーシアードでは100カ国以上が参加しました。ほんとうにいろんな国のいろんな民族が集まりました。神戸にいながら世界中を旅してきた気分です。ではモーリシャス発 アフリカをぐるりと回る経路で紹介します。

モーリシャスから喜望峰を回わり海岸線を北へ行くと、リベリアです。ユニバーシアードでは自分の国を紹介し、なじんでもらおうと努力していました。その一つはリベリアです。彼らは小さなパーティを開いて自分達の描いた絵を《それが面白い事に、戦争や苦しみ等を表わしたすさまじいのがあれば隣りには怖くなるぐらいほのぼのとして平和でのどかかのでした》説明しながら見せてくれたり Green Book や歴史や大統領の事について演説しました。堂々と嬉しそうに話していたのが印象的です… 私は中曽根さんについてあんなに詳しく楽しそうに話せない。彼らはまじめでおとなしい性格の人でした。ある学生らは Food Science を勉強していて「広い海岸があるんだが、魚がとれる時、とれない時があって困る。冷凍の魚は不味くって食べれないので生きたまま保存している水族館に連れていってくれ」と言ってまじめに研究していた。彼らは、自分の国に誇り

を持ち、より良くしようと懸命な人々でした。

さらに北へ行き、地中海のいきづまりにあるのはレバノンです。彼らは、選手村でも、ちょっと有名な「女たらし」でした。美しい人を見るとツツツと歩いて行き、堂々と "Great honor to kiss such a beautiful lady" と言って手に Kiss するのです。けれど悪気はしないのです。貴婦人になってステキな騎士が目の前にひざまづいて手をとって kiss してくれる小さい頃の甘い夢が漂って… 彼らはとても陽気で軽るかったけど、国にもどると、とても大変なのです。私は戦争を経験した人には何人も会いましたが、戦争を経験している人に会ったのは初めてです。戦争の中で、大学へ行くのは大変です。年に5カ月行けばいい方です。選手の一人の従兄弟は戦死したのです。そして、彼自身も爆撃にあったのです。現に選手団は飛行場閉鎖の為、2日も遅れてきたのです。そういう中で、スポーツをしているのはすばらしい事と思います。

さて、アラビア半島まで来てはクウェートへ行きます。彼らは 回教徒でよくお祈りをしていました。豚を食べないので、寒い冬の豚汁のおいしさも、ホカホカブタマンの美味しさも知らないのですね。もったいないけれどその替わりというのか、奥さんは4人まで OK / ただし、条件は平等に愛すること / 出来るのかしら! ? 彼らの衣装は、白いガウンのようなもので、なんとも面白い光景は、入場式の後、その白いロングドレスで階段を昇る時、みんな、ガウンについているポケットに手を入れるから、どうしたのかな、と思えば ドレスがひきづるから 手をポケットに入れてすそをたくし上げているのです。おぼけの Q 太郎が一列に並んでいるようでした。そして、なんと言っても Oil dollar は偉大です。ものすごいお金持ちです。ID Card に何枚もの福沢さんを入れて平気で歩いているのです。それに国から各奥さんが月 \$ 300 もらえるのです。教育費はもちろん無料、税金なし(日本の政府、まいったか) 中国へ行く途中、少しブータンによりましよう。私はあそこがれのブータン人と会いました。本当に日本人とそっくり。「王様は今、お嫁さん探しているから、君、どう? 伝えといてあげるよ」と言ってくれました。父上様、覚悟して下さい。お声がかかればいつでもブータンへ飛んでいきます。未来の王妃、ブタ子の一人言でした。

中国の人は、食べて、練習して、寝るという規則的な生活をしていました。通訳の方は、ヒマそうにしていました。だって、彼ら1日14時間、寝るのです。根がはえるんじゃ



読売新聞のインタビューの時

ないかしら、そんなに眠ると……………

どうですか。ちょっとした世界一周旅行気分、味わえましたか、外にばかり目をむけず、参加した人を紹介します。

さて「有名人の共通点」は

水泳のビョンディーとグロスにインタビューの通訳としていったのですが、二人の共通点は横柄なのです。二人のうちでは、ビョンディーの方が好感もてます。憎めないのです。遊んでばかりいたけど、練習ばかりしているグロスは、どこかトゲトゲしていた。それに、ビョンディーは、立ち去る時、女の子がボツとするようなセリフを冗談ぽく言っていくのですが、グロスは冷めたく、時には無視していくのです。

もう一つの共通点は「お天気屋である。」ソ連のサポーは、冷めたくツンと歩き、Fanが群がってもロシア語でかわしていくのに、私と会った時は、にこやかに私の所へ来て「サインしてあげる」と英語で言い、サインしてコーチの所へスキップしていくのです。

面白い選手もいっぱいいました。背の高いバスケの選手は電車の中で立ったままあみ棚に新聞をのせ読みはじめるのです。《本当に背が高い。私が思いもよらないところに「頭上注意」と書いてあるのです。そして本当に人はぶつかるのです。私なんかジャンプしてとどくとこなのに。》電車の中ばかりでなく駅でもいろいろありました。ID Cardを切符のかわりに改札機に入れようとする人、めんどくさくってビョンと飛び越えていく人々。幅飛びかしら、高飛びかしら、けどまっきれいに飛び越えること！

選手村内では、みなさん運動の選手なのに絶対歩こうとせず、自転車をフルに活用していました。私はよく自転車がない時は、同じ方面に行く人にWinkして後ろに乗せてもらいました。中は、ほんとうによくお国柄がでてました。競技が出来るのか不安になるほど遊んだり、ふざけたりしていたアメリカ選手団、体操服がいつでも干してある日本エリア。日本がどの練習場へ行っても、一番練習しているのに、どうしてそんなにメダルがもらえないのかな。やはり食事に問題があるのでは。彼らは毎回肉がでるの



入場式の時、商船大学の方と

であきてしまい、ゲームコーナー（ゲーム1回 10円）のカップラーメンはただなので、カフェテリアで食わず、そこでラーメンをすすっていた。けど外国人には人気があった。Too much meat, but can't stop eating them.とまるで、外国版のカップエビセンですね。「やめられない、とまらない」と言いつつ食べていると、ブクブク太り、選手村のサウナーはすごい人気。時には、サウナーに入りすぎて、ぐったり疲れてる人もいたが……

サービスセンターからへやへもどる途中に Flag Plaza があります。そこには参加している各国の旗がかかっている広場です。イギリスのサッカーチームの監督の John は別れぎわにユニバーシアードについての感想を言いました。選手村に到いた時、初めてここに連れてこられ、各国の旗を見て感動しました。1人しか来てない国の旗も300人以上もいる選手団の国の旗も同じように堂々と風になびいている。こんなに多くの人々が1つのユニバという大会に、又、神戸という町に集まっている。そして又、今ここを去って行く人も、神戸から世界各国へと散らばっていく……

ここで多くの人が出会った。

ユニバーシアード神戸大会'85



●9月18日(水) 第一例会



ゲスト・スピーカーとして、田中主事の後任として当クラブの担当主事として迎えることになったYMC A国際社会奉仕センター 真嶋克成所長(写真)をお願いした。

テーマは「最近の国際社会奉仕センター活動について」で、センターをサポートする立場にある当クラブとしては、あらためて、一同認識を深めた。

その他日本区YEEP受け入れ第一号のヘーザー・フォークナーさんとメルボルンのY'S G・チャルズウォース氏が特別ゲストとして紹介された。

又、日本区代議員会へ送る中西部選出議員の選挙に、中村隆幸君を候補者として推挙したが、残念ながら次点に終わった。その代わりという訳でもないが最後の抽せん会では特賞(山田)3等賞(藤井)が当るというラッキーを得て楽しく散会となった。

(山田 記)

●9月23日(月) 中西部会(レポート)



第35回中西部会は、9月23日(月)大阪YMCA会館で行われ、約200名のメン・メネットが出席した。センテニアルからは、鈴木夫妻、田中夫妻、浦野、谷川、中村、藤井、松本、森、山田の11名が参加した。

「これで行くのか中西部」というテーマは「積極的行動でワイズの輪を広げよう」との中西部長標語のころを受けて、このところや、停滞気味の中西部に活性化の方策を探る主旨で設定された。「大きくなりすぎた中西部を分割する」という問題提起が中心となって論議が進められた。

かつて北西部を二分し、以後飛躍的な発展をとげた京滋部から学ぶべく、沢実英、正村公一、森田恵三の三氏を招きその体験談を聞き、何れかの方向を見定めようとの意図であったが、時間的制約もあり明確な結論とはならず、

「分割は活性化のための一つの手段ではあるがすべてではない」という言葉が残った。今後は専門委員会を設けて検討を続けることであった。

ゲスト諸氏のお話から、わがクラブ活性化へのキーワードとして印象に残ったものを記す。

「Y'SはYMCAのためにあるのではなく、Yと共にあるのだ。」

「楽しいことを考えていると、きっと楽しいことが起るもの。楽しい人の周りには楽しい人が集まって来る。楽しい例会には楽しい話題が、楽しいクラブは楽しんで奉仕しているのだ。」

●9月25日(水) 第2例会

(議事報告)

1. 10月ウェルネスの月例会のプログラムを確定した。
2. YMCAサービス委員会より当面の事業計画の提案を受け承認決定した。(別掲)
3. メネット会長 山田メネットの病氣辞任申し出を承認し、後任として田中豊子メネットの選任を決定した。
4. 12月クリスマス例会は、12月15日(日)午後3時より大阪YMCA会館で、土佐堀、サウスとの3クラブ合同で開催することを決定した。
5. 奉仕センターのセンテニアル事務担当として、チャーター以来お世話になった下古立嬢の結婚退職に当り、感謝をこめてお祝いの品を贈ることを決定した。
6. 「平和の本」に関し、CS事業として10冊、メネット事業として10冊、寄贈することを決定した。
7. チャーター以来3ヶ年分のセンテニアルブリテンを、一冊に製本し、保存することを決めた。30部製作し、保存の余部は希望者に実費3,000円で配布する。

(各事業ニュース)

(CSニュース)

CS委員会では、奉仕センターを窓口として、関連地域の学校や文化施設に「平和の本」を贈呈することにし、取りあえず10冊を真嶋担当主事に託し寄贈した。

(YMCAサービスニュース)

9月25日(水)委員会を開催し、当面の活動計画を検討し、役員会に提案して承認決定した。

- ① 奉仕センター主催のチェロコンサート(11月27日)を支援するため、前売券60枚以上を販売目標とする。
- ② 奉仕センター日本語学校生徒のクリスマスパーティー(12月13日)への寄金とお手伝を例年通り実施。
- ③ 奉仕センター外国語教師との交流のため、来年のイースター前後にファミリーパーティを開き招待する。

(BFニュース)

- ◎ 9月例会の切手持参者は、黒田、鈴木、谷川、平田、中村、森、山田、村田、松本、河野、他現金700P(切手ポイントは10月初め鈴木氏にTELして確認して下さい)
- ◎ 10月はBFポイント中間報告の月です。家庭にたまっている切手は全部 鈴木BF委員まで提出して下さい。

風
響
樹

CENTENNIAL EYE

本気きちがい

蔵書などとしかめつらしい呼び方には全く不
相応な本にうずもれた生活、いわば手当たり次第
の乱読家というのが、自らの納得のいく呼称であろうか。

本好きは、どうも物心がついたころから始まっていたよ
うで、小学校低学年で、わけもわからず日本文学全集をか
たっぱしから読んでしまうなど、はなはだ早熟ではあった
ようだ。長じて読書好きの良癖も、単なる乱読、ツンドク
の悪癖に転じてしまっは、わが蔵書(?)も今や粗大ゴミと
化し、常々夫婦喧嘩の種とはなりぬるも、むべなるかなと
嘆息している。

だがしかし、年々歳々頑迷に本をこよなく愛するの情高
まり押し入れには平積みし、知人宅へも預けたり、今や約1
万冊？。

(数えたことがないのでオーバーかも)

世の中の常識ある人が聞けば「何の益あるや」と問われそ
うにも、性こりなく本屋通い。そのうち、漸次児童図書
へ巾を拡げ、私設図書館みたいなものでも作って、自らも
晴耕雨読の生活をしたと云ったところが、私の怠惰な夢
なのである。



CALENDAR OF EVENTS

セシリア・バルチック女史

チェロコンサートご案内

国際・社会奉仕センターと国際文化センターが共催し、テレマン協会アンサンブルとの協演によるYMC
Aチャリティークリスマスコンサート“チェロコンサートのつどい”を下記の通り開催いたします。

10月1日(火)より前売券を発売しますので、メンバー及びメネット、コメント、ご友人の方々にご案内頂き
たく存じます。

今からこの日を覚えていたゞき、ご来場下さいますよう、お願い申し上げます

記

日 時： 1985年11月27日(木) 午後7時開演
会 場： 大阪YMCA会館ホール 2F TEL. 06-441-0893
前 売 券： 2,500円
テレマン室内管弦楽団(指揮 延原武春氏)とのジョイントコンサート

演奏者略歴

	セシリア・バルチック女史 (コンサート、チェリスト)	レイナルド・レイエス氏 (コンサート、ピアニスト)
生年月日	1950年12月19日	1933年12月12日
国 籍	ポーランド	フィリピン
学 歴	ワルシャワ音楽院 チャイコフスキー記念音楽院 エール音楽院	サント・トーマス大学 パリ、国際音楽院 ビーボディ音楽院
受 賞	・J. S.バッハ国際チェロ コンクール ・G. カサド国際チェロ コンクール ・チャイコフスキー国際コンクール	・ブソーニ国際ピアノ コンクール ・マルグリッド、ロン & ジャック、 ティボー国際ピアノ コンクール

その他、数々のコンクールで受賞し、それぞれチェリスト、ピアニストとして世界各地で
コンサート活動を続け、その才能は国際的な評価を受けている。



ハワイ官約移民100年 谷川 寛

七月に私達の訪れたハワイは、明治18年(1885)に日本最初の移民が海を渡ってから、ちょうど100年目とあたり、記念すべき年でした。今年の初めには多くの記念行事があったようです。

ハワイのあちこちで、Centennial Celebration of KAN YAKU IMIN(官約移民100周年)という言葉を目にしました。ホノルルの商店街で、日本語で書いた「祝オアフ官約移民100周年」の垂幕をみました。この「Centennial」は私達のクラブ名のOsaka Centennialと同じで、100周年を指します。そして、この「官約移民」のことをもう少し詳しく知りたいと思い、私の長年の友人、C・ツカヤマさん(ウインワード・ワイズ)に、ホームステイの際、たずねてみました。

彼は詳しいことは、この本を読んでほしいといって、「The Japanese in Hawaii - A Century of Struggle」という本を入手してくれました。その本の記述によりますと：

明治14年(1881)、ハワイのカラカウア大王が世界一周の旅の途中、日本に立寄り明治天皇に会見して、ハワイへ

YMCA TODAY

日本語学習の人気沸騰

正式には「大阪YMCAカレッジ語学・体育専門学校」の外国語課程の一学科である日本語学校では、あらたに40名にのぼる留学生を迎え秋のコースを開講いたします。一方、今春入学した学生は、来年3月まで日本語の勉強を続けますが、7割が日本の大学への進学を希望しています。また、秋の集中コース(週2~3回、10週間コース)には約50名の参加者が入学予定です。

なお、10月より次年度(来春開講)入学の申込み受付がスタートします。彼ら留学生へのホームステイや、留学生の国の紹介プログラムなどの面で、ご支援を引続きお願いいたします。

Bulletin Board

ワイズメンズクラブにとって例会出席は最大の関心事であり、出席なくしてクラブの存在はありません。メイクアップによる出席について再認識下さい。

- (1) 区大会、部会、部評議会、クラブ役員会または第2例会に出席した場合
- (2) 内外の他クラブ例会に出席したことが届出された場合
- (3) 国際大会その他ワイズメンの国際的会合またはYMCAの国際会合に出席のため、例会日に不在の場合

の日本人の移住を懇請した、とあります。そのあと四年にわたる交渉の結果、明治18年(1885)二月に、944人の人々がCity of Tokyo号で、また同じ年の六月988人の人々がYamashiro丸で海を渡りました。

この二組の移民をベースにして明治19年(1886)に日本とハワイの間でJapanese Labor Convention条約が結ばれました。この両国政府間の条約に基づいて移民した人々を「官約移民」と呼んだそうです。

この官約移民によって、3万人の人々がハワイ、主としてオアフ島に渡りました。この官約移民は明治27年(1894)に終り、そのあとは私約移民(Individual Contract)、自由移民(Free Immigration)、さらに、呼び寄せ移民(Summoned Immigration)などの形態に変わりました。しかし、1924年にWalter-McCarran Act法の通過で、東洋からの移民は終りを告げます。明治18年(1885)からはじまった日本からの移民は、1924年までに約22万人に達しました。

日本からの初期の移住者の大半は、Sugar Plantationで働くための「労働移民」でした。日本出発前に予想した以上に、ハワイでは苛酷な労働条件が待っていたようです。しかし、日本人は他の東洋人に較べて勤勉であり、責任感が強く、教育熱心であったことから、現地では歓迎されました。やがて、日系人は多くの艱難を克服して良き市民となり、ハワイの政治、経済、社会に大きな貢献をしました。

私達がハワイ滞在中に放映されたテレビ・ドキュメンタリー「移民の歌」(A Song of Imin)は、官約移民のはじまる前、明治元年(1868)に150人の人々が山口県からハワイに移住した時の物語です。彼らをGAN-NENMONO(元年者)と称するそうです。彼らのルーツ山口県JIGOZEN MURAにスポットを当て、それから二世、三世をたどるストーリーです。

このテレビ番組のナレーター役を務め、山口県JIGOZEN MURAを訪れた美人アナウンサーのババーバラ・タナベさんが、ワイズメンのアメリカ・エリア大会のスピーカーでした。

彼女の話聞いたあと、このドキュメンタリーをテレビで見ましたが、それは感動を呼ぶ大河テレビ・ドラマでした。その時の余韻が今も私の胸に残っています。

1985 1986 役員 (Officers)			
会長	山田 孝彦	会計監査	上月 英子
副会長	森 庄司	担当主事	田中 穰二
"	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
書記	藤本 史郎	"	中村 隆幸
"	松本 常晃	"	山中 秀男
会計	浦野 啓一	直前会長	中村 隆幸

EDITOR'S NOTE

9月号にて鈴木謙介君の受賞名をエルマー・クロウ賞と記しましたが、バレンタイン賞が正当。お詫びして訂正します。

尚、同賞は次のようなもので、日本で2人、世界でも25人が表彰されているものです。

Harry M. Ballantyne Award (バレンタイン賞) 国際大会においてワイズメン・メネットにおくられる最高の表彰

(ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
担当 TEL 0797-32-9204